

## 偉そうに、アルバム 素人レビュー

校長 佐々木 雅哉

暑中お見舞い申し上げます。先月の雨続きの天気から、「暑く、晴れていない夏はちょっと寂しい」などと考えましたが、おおよそもう満足です。子どもたちも、元気に休みを満喫していることと思います。どうかみなさんの心に残る夏になりますように。

今号は少し趣向を変えて、まえだゆりなさんの新作アルバムのレビューに挑戦しました。素人の拙稿、お付き合いください。

夏の初め、彼女から新作のアルバムが届いた。「うたうたい」、10曲が連なっている。いつもの透明な声から、どういうことか何か迷いを感じる。曲作りや方向性ではない、もっと内面的な葛藤のようなもの。たぶん、自分を客観視することへの迷いなのではないか。「果たしてこの視点は、自分を見つめることに合致しているのだろうか」、「自分を穿って、いや傲って見てやしないか」などというような、迷いの縁に立った言葉が吐きだされていく。でも時に、「自分は本気でここから逃げ出したいと思っているのかな」、と問い直し、また迷いの流転に落ちていく。

そんな彼女を救ったのは、紛れもない友や仲間だ。彼らは彼女をほどよく取り巻き、不安定な座標軸にもかかわらず、誰に媚びることなくしっかりと腰を据えることで、はっきりと彼女の現在地を浮かび上がらせた。

—「間違っていない」、迷いが消えていく瞬間だったことも、あたりまえのローテンポの中に刻まれた。

今、ギターを持つ彼女も、彼女のうしろで鳴く蝉の声も、真夏の森に差す日差しのように、もう迷いはない。



まえだゆりな アルバム「うたうたい」、リリース。詳しくは、  
まえだゆりな公式SHOP

<https://maedayurina.thebase.in/> へ。

「星置東小学校 開校30周年『つぎの星をさがしにいこう。』プロジェクト みんなのことばが、うたになる。」進行中。まえだゆりなさん制作の本校応援歌も、少しずつ形になってきています。こちらは11月1日の開校記念日にお披露目予定。